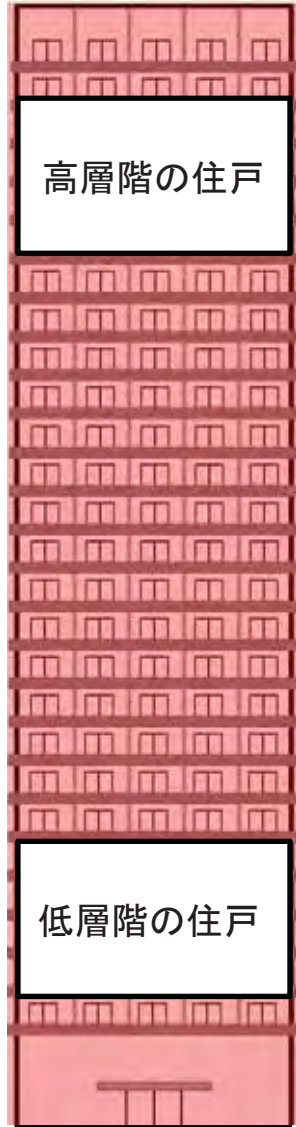


# 居住用超高層建築物に係る課税の見直し(案)

## 【現行】



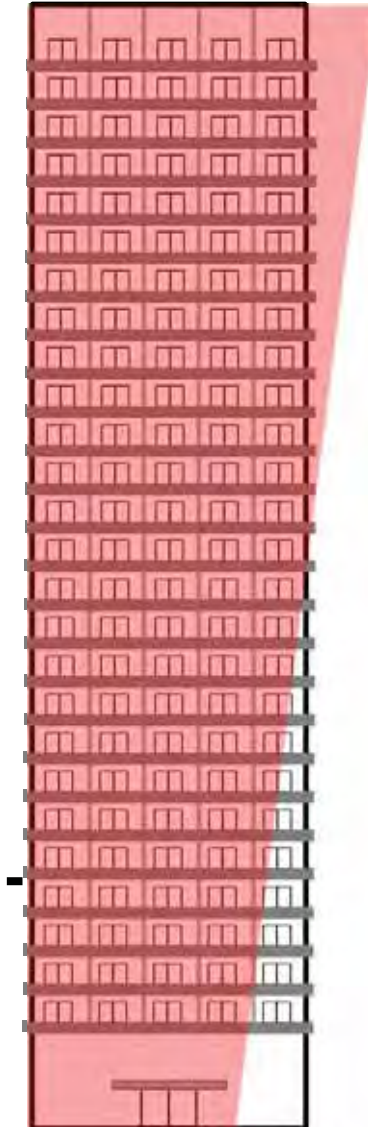
### 現行の税額計算方法

一棟評価し、一棟全体の固定資産税額を計算。  
 その上で、各区分所有者の専有床面積によりあん分。

$$\text{各住戸の税額} = \text{一棟税額} \times \frac{\text{各住戸の専有床面積}}{\text{専有床面積の合計}}$$

高層階、低層階とも床面積が同じであれば税額は同じ。

## 【見直し後】



### 見直し案

実際の取引価格の傾向を踏まえたあん分方法とする。  
 (一棟全体の固定資産税額の合計は変わらない。)

$$\text{各住戸の税額} = \text{一棟税額} \times \frac{\text{各住戸の専有床面積} \times \text{階層別専有床面積補正率}}{\text{専有床面積(補正後)の合計}}$$

※固定資産課税台帳に基づいて算定している不動産取得税にも反映